



ToBE
The Y's Men's Club
of Kyoto

2016 11 November
Bulletin

2016年11月10日発行
第21巻 第5号 通巻231号



今月の聖句

そのとき、荒野に公平が宿り園に正義が住まう。
正義が造り出すものは平和であり正義が生み出すものはとこしえ
に安らかな信頼である。
イザヤ書32章16～17節

クラブ会長主題 「update」 レベルアップの一年に

国際会長主題 "Our Future Begins Today" "私たちの未来は、今日から始まる"

アジアエリア会長主題 "Respect Y's Movement" "ワイズ運動を尊重しよう"

西日本区理事主題 "ワイズ魂で更なるワイズの活性化を!" "Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit!"

京都部部長主題 "いつも喜んでいなさい" "Be joyful always"

クラブ会長：安井基晃

国際会長：JOAN WILSON (カナダ)

アジア会長：Tung Ming Hsiao (台湾)

西日本区理事：岩本 悟 (熊本にし)

京都部部長：廣井武司 (京都プリンス)

「20周年を迎えるにあたって」

私たちトゥービークラブは来年20周年を迎えます。クラブ外へはこれからぼちぼちとご案内が行くかと思っておりますが2017年8月26日 ANA クラウンプラザホテル京都にて20周年記念例会も開催させて頂く予定になっております。私はその実行委員長として今現在記念例会の企画、準備をしているところです。

20周年と一言で言ってもメンバー個々に経験年数も違います。チャーターから本当に20年このクラブを見てきた方、15年、10年、5年と周年の経験も様々だと思えます。

私が入会したのは約11年前で入会して間もなく10周年記念例会の準備や記念事業の話が飛び交い、ワイズの事すら解らないまま実行委員会などに参加していたことを今でもよく覚えています。当時クラブは20歳代のメンバーは1、2人、30歳代のメンバーは2、3人、大半が40、50歳代のメンバーでその年代のメンバーが中心になって凄くまとまっていたように思います。現在とは言うも20歳代は0人、30歳代5、6人、40歳代も5、6人、50歳代15人くらいと60歳代少々と言った構成でしょうか。10周年の時より少し若いメンバーが増えているように思います。これは素晴らしいことだと思います。

少し話がそれてしまいましたが来月から20周年記念例会の準備も担当に分かれて少し細かく動いていく事になります。メンバーの皆さんには出来る限り参加して頂き、協力し合って準備を進めて頂きたいと思えます。

冒頭に私が10周年で右も左もわからないまま参加していたと言いましたが、解らないなりに参加していると色々な経験が出来ます。自分の成長にもつながると思えます。何かイベントをこなすと、しんどいなり成果や喜びが必ずあります。実行委員会も毎回盛り上がっています。是非ご参加を！

自分自身の成長、クラブの発展の為にもメンバー一丸となって進めていきましょう！

安井会長がおっしゃっている「update」レベルアップの1年にしましょう！！



吉田真理

✂キトリ線

〈強調月間〉 Public Relations Wellness

■ 10月例会出席	
第一例会	
メンバー	20/32名
ゲスト	5名
メネット	0名
コメット	0名
第二例会	
メンバー	27/32名
ゲスト	16名
メネット	2名
コメット	0名

■ BF・EF・JWF	
BF	0円
EF	0円
JWF	0円

■ ニコニコ	
10月	
第一例会	0円
第二例会	0円
累計	17,000円

■ ファンド	
10月	0円
累計	0円

会 長 安井基晃
副 会 長 青木禎一郎
古田裕和
外部書記 小幡 弘
内部書記 溝口 誠
会 計 若井克俊

10月第一例会「ゲストスピーカー例会」

10月12日(水) 於:ANAクラウンプラザホテル京都
出席者:メンバー20名・ゲスト5名

今日の例会は、富田屋十三代目 田中峰子さんをお迎えしてご講演いただきました。

個人的に他の会でお付き合いさせていただいている関係で当日は、お隣の席にお邪魔しました。

まず、冒頭にご本人から”神のお告げ”(笑い)で呉服屋さんから現在の「日本人の心」を受け継いでいく使者とられました。

京都は、多神教で市内各地に”八百万の神”にまつわる場所が点在します。どこにでも神様の声を聞けるらしいです。毎朝家中の神さんごとから一日が始まる京都でも、中々昔ながらの行事や仕来りからとうざかっていく毎日です。

どんどん薄れていく今日の文化体験を積極的に展開され

ている「峰子さん」です。

息をしている町屋から出る「気」を感じてもらいたい、そして町屋に伝わる心身ともに美しく生きる知恵を後世に残して行きたいと心より願っておられます。

講演は、月ごとに行われる行事を中心にお話をいただきました。京都では、奇数が重なる日には必ず行事ごとがあるということも、改めて気付かされました。

「何事でも願い続けることで必ず叶う」ということがとても大切だと結びにおっしゃっておられました。この言葉を忘れず、願い続けようと思っている今日この頃です。

峰子さん、ありがとうございました。



水野充弘



10月第二例会「木村務ワイズ追悼例会」～ 故 木村ワイズを偲ぶ例会 ～

10月26日(水)19:00～21:00 於:ANAクラウンプラザホテル京都
出席者:メンバー27名・メネット2名・ゲスト16名

人と騒ぐのが大好きだった“つとむ”がさっさと逝ってしまった。その“つとむ”がこの日の例会に大勢の懐かしい仲間を呼び集めた。

“つとむ”が人の涙を誘うことなど想像できなかった。

その“つとむ”がやっぱり似合わない仲間たちの目に涙を見せた。そんなことさせたくなかった。

あいつが一番似合わない“なみだ”が、みんなのつとむへの想いの深さを教えてくれた。そんなことさせたくなかった。教えてくれなくてよかった。

今も思い浮かぶのはあいつの笑顔だけ。

少々の上品さの不足など我慢したのに…

そのままであればよかったのに。

いい例会だった。



田中光一さん



恒例のラウンジ二次会、例会欠席しても一番に到着していた“つとむ”そんな大声で注文しなくてもよかった“つとむ”。

だけどやっぱりおまえがいないと…。

次ページに続く ➤

“つとむ”との最初の出会い、30年ほど前のパレスクラブの納涼例会。

同じなら可愛いメネットのいるテーブルへと探して見つけたときだった。

そのときおなかのなかにいたらしい長男たくまがこんな好青年になった。

その一美メネットの最後までニコニコ笑顔の看病にも感謝して脱帽。

最後のお別れのときそのたくまが「親父はスーパーマンでした」

息子にそこまで言わせた“つとむ”

頼まれれば嫌と言わない“つとむ”は我々にとってもスーパーマンだった。



国際協力街頭募金

10月30日(日) 於: 京都YMCA前
出席者: メンバー2名・コメット1人

10月30日日曜日、国際協力街頭募金に参加しました。今回クラブからの出席が少なくメンバー2名コメット1名でしたが、総勢310名市内10カ所で募金活動をしました。

トゥービークラブは京都YMCA前が担当で子供達が頑張って募金活動をしていたので、メンバーは邪魔しないようにうしろでノボリを持ってサポートしました。

今回一時間半の活動で総額325,026円の募金が集まりました。今回集まりました募金は日本YMCA同盟を通じて世界で紛争や災害に苦しむ子供たちに使われます。本当に参加した子供たち大きな声を出して頑張っていました。



安井基晃

